

**一般財団法人新潟市海洋河川文化財団**  
**第2回理事会（第2期）議事録（抄本）**

**1 開催日時**

平成28年10月26日（水） 10時00分から10時30分まで

**2 開催場所**

新潟市水族館マリニピア日本海 2階団体休憩室（新潟市中央区西船見町 5932-445）

**3 理事現在数及び定足数**

現在数5人、定足数3人

**4 出席理事数 4人**

（出席） 高橋道映 理事長（代表理事）、小黒和弘 専務理事（代表理事）、大谷剛史 理事、  
横川喜代志 理事

（欠席） 西源二郎 理事

**5 出席監事数**

（出席） 佐藤昌弘 監事

（欠席） 山岸誠一 監事

**6 その他出席者**

（事務局） 加藤治彦 水族館長、長谷川一栄 文化政策課主幹、長谷川聡 主査

**7 決議事項**

議案第1号 平成29年度事業計画の承認について

議案第2号 平成29年度予算の承認について

**8 議事の経過の要領及びその結果**

**(1) 出席者の確認及び議長の選出**

小黒専務理事が出席者の紹介を行い、配付議案の確認をした。その後、定款並びに理事会運営規程に基づき高橋理事長が議長となり、高橋議長が開会宣言を行った。

**(2) 理事の出席状況の確認及び議事録署名人の選出**

高橋議長が、理事会運営規程に基づき小黒専務理事へ出席状況の報告を求め、小黒専務理事より定款並びに理事会運営規程に規定する理事の過半数の出席を満たしており、本理事会は有効に成立している旨の説明があった。

議事録署名人は定款並びに理事会運営規程に基づき高橋理事長、小黒専務理事及び佐藤監事とし、議案の確認後、審議に移った。

**(3) 議案第1号平成29年度事業計画及び議案第2号平成29年度予算の承認について**

高橋議長が上記議案について、小黒専務理事からの説明を提言した。これを受け、小黒専務理事が事業計画及び予算についての説明を行った。

事業計画は、事業概要・公益目的事業（1 海洋・河川文化の普及啓発、調査研究及び保護継承事業、2 海洋・河川に生息する水生生物とその生息環境の展示及び飼育事業）・収益事業について説明がされた。

続けて、予算について、公益目的事業が指定管理、啓発事業、補助金、収益事業が施設管理に付帯するもの、法人会計は理事会・評議員会に関するものから構成されている旨の説明がさ

れた。

説明終了後、本議案に関して、次のとおり質疑応答があった。

(横川理事) 共同事業体である新潟市開発公社との調整及び役割分担は行われているのか？

(小黒専務) 次期指定管理者として新潟市開発公社とは共同事業体の協定を締結している。

当財団は、指定管理者の代表団体として、指定管理料の収受、対外的な支払業務、施設の維持管理など水族館の全ての業務を行う。

また、新潟市開発公社は、事務系職員の人的支援、今までの経験・ノウハウの提供及び社会的信用力などバックアップとしての役割を担ってもらう。

質疑応答を経て、審議の結果、本議案は、出席理事の満場一致で原案どおり承認された。

以上をもって、全ての議案の審議及び報告を終了したので、議長は10時30分に閉会を宣言した。

上記の議事の経過の要領及びその結果が正確であることを証するため、出席した代表理事及び監事は記名押印する。

平成28年10月26日

一般財団法人新潟市海洋河川文化財団

議長 代表理事 高橋 道映

---

代表理事 小黒 和弘

---

監 事 佐藤 昌弘

---

## 議案第 1 号

平成 29 年度一般財団法人新潟市海洋河川文化財団 事業計画の承認について

平成 29 年度一般財団法人新潟市海洋河川文化財団事業計画について、新潟県公益認定等審議会における公益認定申請書の必須書類であるため、定款第 8 条第 1 項の規定に基づき、理事会の承認に付する。

今後、新潟県（法務文書課・文化振興課）及び新潟市（文化政策課）との協議により、本事業計画に大幅な変更又は、修正が生じた場合は、再度、理事会に諮るものとする。

なお、事業計画書は別紙のとおりである。

平成 28 年 10 月 26 日提案

一般財団法人新潟市海洋河川文化財団  
代表理事 理事長 高橋 道映

## 議案第 2 号

平成 29 年度一般財団法人新潟市海洋河川文化財団 予算の承認について

平成 29 年度一般財団法人新潟市海洋河川文化財団予算について、新潟県公益認定等審議会における公益認定申請書の必須書類であるため、定款第 8 条第 1 項の規定に基づき、理事会の承認に付する。

今後、新潟県（法務文書課・文化振興課）及び新潟市（文化政策課）との協議により、本予算に大幅な変更又は、修正が生じた場合は、再度、理事会に諮るものとする。

なお、正味財産増減予算書及び資金調達・設備投資の見込については別紙のとおりである。

平成 28 年 10 月 26 日提案

一般財団法人新潟市海洋河川文化財団  
代表理事 理事長 高橋 道映